



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページにバックナンバー掲載中

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...



4月号 APR 2021

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

新玉葱の季節です

新型コロナウイルス感染症で罹患された皆様、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の皆様、病院関係の皆様、新型コロナウイルスの感染拡大防止にご尽力されている皆様により感謝を申し上げます。

2021年は桜の開花が例年より早くなりました。東京では開花が3月14日、満開が3月22日と平年より12日早く咲きました。4月1日の今、すでに葉桜となっているところもあります。最近は気温が20度を超えることもあり過ごしやすい日が続いています。

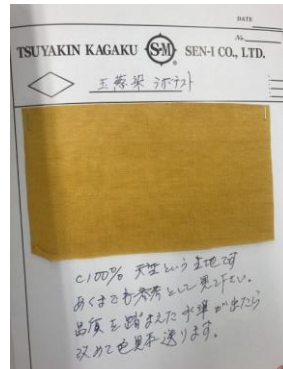
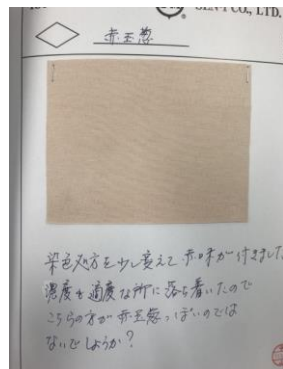
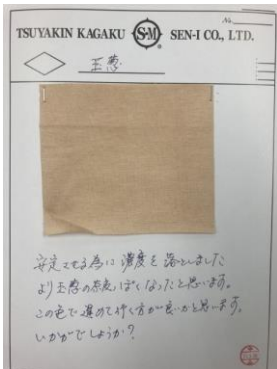
一方、気温上昇が平年より早い傾向にあり、北海道産玉葱の品質が心配になってきました。今期の北海道産玉葱の傾向としては、品質劣化の進みが平年より早いように感じています。生育期に降雨が多かったことも影響しているように思います。現状6月までの北海道産使用を考えていますが、剥き玉葱での品質管理をしっかりと行っていくように致します。

府県産については新玉葱の出荷が各産地スタートしています。今年は1月・2月の低温干ばつにより生育が遅れ、出荷は例年より遅いスタートとなりました。気温が上がってきたこともあり、今後は生育がおいついてくるものと思います。弊社契約産地の佐賀県産地の状況は順調です。気温の上昇とともにベト病等病害虫の発生が今後心配材料ではありますが、このまま順調に5月の収穫を迎えてくれることを期待しています。

「初物」ハツモノと読みだりハシリと読みだります。日本人は好きですね。初物を辞書で引くと「その季節に初めて収穫した野菜、果物、穀物、魚介類を指す言葉」のように出ます。日本人は昔から初物を食べると「福を呼び込み、長寿になる」として縁起の良い食べ物としてきました。ハシリ of 時期の食べ物は生命力がみなぎっているからその恩恵に預かろうというわけです。

新型コロナでまだ世の中大変ですが、今がハシリの新玉葱を食べて元気に行きましょう！

タマネギ ムダナクツカウ プロジェクト



玉葱外皮の再利用プロジェクト。染色加工をされている岐阜県の(株)艶金様とご縁を頂き、ご協力をして頂けることになりました。艶金様は積極的にSDGsに取り組んでいらっしゃる、本年は農林水産省協賛の第8回食品産業もったいない大賞を受賞されています。艶金様独自の技術で食品や食品加工で出た残りものを原料として染色する技法で商品化を行い、フードロス削減の取組をされています。素晴らしい会社様です。現在マルト商事で剥き玉葱製造加工時に排出される外葉でどのような色が出るかをテストしていただいています。黄玉葱と赤玉葱、両方とも面白い色味が出ています。商品化に向けて進めていきますので、今後の取組には是非ご期待ください！

艶金様HP <https://www.tsuyakin.co.jp/>

“食”の分野で役立つマーケティング情報

誰でも子供の頃に一度は楽しんだことがある「レゴ」という玩具はご存知だと思います。デンマークで誕生し、世界中で親しまれてきました。少し前になります。スターウォーズをテーマにした商品もあり、子供だけではなく、大人にも大人気でした。このレゴははめやすく、外しやすい特徴は昔からまったく変わらず、数十年たってもほとんど劣化もしません。これはもちろん、レゴが石油由来のプラスチックから作られているからです。そのレゴグループが2030年までにすべての製品をバイオベースのプラスチックや再生プラスチックなどの持続可能な素材で作る目標のもと、専門家を総動員して開発を進めているそうです。さらに使い捨てのプラスチックのパッケージも廃止するために、リサイクル可能な紙の袋も積極的に使っていこうとしています。

このレゴの話が象徴するように、程度の差はあれ、これからは社会や環境問題への意識、取り組みを進めることを抜きにしては企業として活動が続けていくことは、難しい時代に入ってきたのかもしれない。社会のインフラとしてのインターネット、SNSの大きな影響力も考えると、優れた企業としての評価は単に自己発信だけで済むというものではなく、社会や環境との関係性の中でどのような存在意義があるのかということまで問われる時代なのかもしれません。

最近よく見る「SDGs」という言葉があります。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。SDGs17の大きな目標があり、大きなテーマの人と社会、貧困、環境など広い範囲に及びます。2017年11月には経団連が7年ぶりに行動企業憲章を改定し、ビジネスの力を使ってSDGsを実現していこうということをはっきりと明記しました。これまでは企業はどちらかと言えば、儲けたお金の一部、余ったお金を使って社会に良いことをやろう、という発想だったものが、SDGsでは本業を通じて儲けながら世界を変えていこうという大胆な発想の転換になります。

人の毎日の生活に欠かすことのできない食の分野では、SDGsとしての活動が取り組みやすいかもしれません。例えば瀬戸内海に浮かぶ香川県の小豆島で、オリーブオイルの生産・販売を手掛けるアグリオリーブ小豆島（香川県小豆島町）はSDGsを実現するために、オイル抽出後の搾りかすから、家畜用飼料と農業用堆肥の生産に取り組むと発表していましたし、つい最近も、JAグループ北海道が、Jリーグの北海道コンサドーレ札幌と連携協定を結び、国連のSDGs（持続可能な開発目標）を基本方針に据え、食育や社会貢献の分野で協力すると発表がありました。さらに金融の分野でも横浜銀行は環境改善や社会的課題解決につながる事業向けの「SDGsグリーンローン/ソーシャルローン」と、ESG（環境・社会・企業統治）の目標達成度合いに応じて金利が下がる「SDGsサステナビリティ・リンク・ローン」の取り扱いを始めます。

ここまでくると「SDGs」という言葉がなにか企業のPRとしての道具のようになってしまう気がしなくもないですが、いずれにせよ、企業はこれまでとは違うレベルで、社会や環境を意識し続けたいいけない時代を迎えています。コンビニで買い物をして、レジ袋の購入をもったいないと思っはいけないということですね。



木下康司 きのしたこうじ
1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。
デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組み続けている。
<http://www.kino-company.com>

4月 玉葱商品産地情報

産地		状況
国産黄玉葱	北海道	今期は品質劣化が若干早いようです。加工に気を付けます
輸入黄玉葱	USA	—
中国剥き玉葱	甘肅省・雲南省 他	品質安定しています
国産赤玉葱	北海道	終盤少し歩留まりが低下しています。加工に気を付けます
輸入赤玉葱	USA	—

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315